

昭和58年度試験研究項目一覧表

研究目標	研究項目	担当研究室	摘要	
森林の多目的利用のための基礎技術	森林の生態系——人工林の物質生産と循環機能の解明 (アカマツ・ヒノキ混交林) (ヒノキ間伐試験)	造 林	53~63	
	森林利用の計画・管理システムの確立——蓄積経理システムの開発	経 営	<技術開発課題> 56~60	
森林生産増大技術	地力維持・増進技術の確立	—森林土壌の水環境	土 じ ょ う	45~60
		—近畿・中国地域の森林土壌	〃	51~60
		—森林土壌の易分解性有機物	〃	57~61
		—竹材生産のための土壌条件の解明	〃	57~62
	育林技術の改善	—人工林の保有 (スギ間伐方法比較試験) (ヒノキ枝打ち試験) (天然更新と下層植生) (フィリッピンにおける早生樹の生長解析)	造 林	37~70
		—人工林施業法の解明	経 営	47~61
		—林地肥培	土 じ ょ う	43~62
		—保育形式比較試験	造 林	30~70
		—合理的短期育成林業技術の確立	〃	37~67
		—コナラ・クスギの育林技術	〃	58~62
森林の公益的機能の維持増進	水保全技術の高度化	—温暖少雨地帯における林況と流出	防 災	41~72
		—竹林の雨水貯留機能	〃	57~59
	生活環境保全的利用技術の確立	—低山帯ならびに都市近郊地域の土壌と緑化	土 じ ょ う	49~58
		—寡雨地帯の育林技術	岡 山 試	35~60
森林被害防除技術	—病害防除ならびに発生要因の解析 (病害発生状況) (主要病害の発生要因の解析)	樹 病	56~60	

研究目標	研究項目	担当研究室	摘要
被害の調査技術 および予察技術 の確立	—管内虫獣害発生状況調査	昆 虫	30～
	—スギ・ヒノキ穿孔性害虫 (スギカミキリ被害の実態調 査) (スギカミキリ成虫個体群の 林内移動・分散) (スギカミキリ成虫の飛翔能 力) (人工飼料によるスギカミキ リの飼育)	//	51～60
	—野兎個体群の動態	//	58～62
	—西日本におけるハタネズミとス ミスネズミの個体群動態	//	58～62
	—竹林および竹材の害虫	昆虫・調査 室	57～61
	—広葉樹の病害 (ミズナラの立枯病) (トウカエデうどんこ病) (クリ立枯病)	樹 病	56～60
	—サクラ主要病害防除対策	//	<特定研究> 51～
	—人工林冠雪害の育林的防除技術 開発調査	造林・防災	<特定研究> 58～62
	—マツ類の枯損防止 (マツノマダラカミキリの羽 化脱出消長) (マツノマダラカミキリの保 線虫数) (マツノマダラカミキリの飛 翔能力と保線虫数との関係) (スミチオン感受性ヒノキの 落葉防止試験)	昆 虫	51～60
	森林管理による 予防技術の体系 化	—スギカミキリ等穿孔性害虫の防 除技術	//
—野そ防除法の確立	(近畿・中国地方における林 床植生型と野鼠類の発生と の関係)	//	<技術開発課題> 56～58
—マツ枯損防止新技術適用化促進 調査		//	<特定研究> 58～61
<特別研究>	—発病に關与する生理化学的要因 の解明 (マツの代謝生理と発病との 関係)	樹 病	56～58

昭和58年度試験研究項目一覧表

研究目標	研究項目	担当研究室	摘要	
マツ枯損防止に関する新防除技術開発のための発病機構の解明	(マツ個体間および種間における抵抗性要因の解析)	昆 虫	57~59	
	—発病の疫学的解明			
	(マツ林分の環境条件の解析)	樹 病	58~59	
	(被害の伝播拡大に関連する生物的要因)			
	—毒物質の作用機作の解明	経 営	56~58	
	(毒物質生産およびその作用と抵抗性機構との相互関連性)			
	—被害の実態と発生環境の解析	昆 虫	56~60	
	(被害量の経済評価)			
	<国立公害>	経 営	58~60	
	—森林環境別個体群動態解明			
	森林食害発生機構の解明及び被害抑止技術	(森林環境別個体群構成の解明)	昆 虫	56~60
	—森林施業地域における保護管理技術			
	(体系的管理モデルの作成)	経 営	58~61	
	—害虫の個体群動態と被害発生条件の解明			
(害虫の行動習性ならびに個体群消長とその要因)	昆 虫	58~61		
(被害発生条件)				
<特別研究>	樹 病	58~61		
—材質劣化機構の解明と被害材の性質				
スギ・ヒノキ穿孔性害虫による加害・材質劣化機構の解明	(材変色・腐朽に関する微生物と材質機作)	樹 病	58~61	
—害虫の加害と林木の生理・抵抗性の関係				
(害虫の加害と林木の生理条件)	昆 虫	58~61		
—				
林業技術の体系化と経営の近代化	—林業経営技術体系の確立	経 営	46~65	
	(磨丸太の生産流通構造)			
	(久万林の成立発展)			
	(吉野地方における優良材の生産構造)			
	(高品質材の需給構造)			
	(林業後継者の経営定着化)			
—育林投資と施業技術の評価	経 営	53~58		
—林業経営管理手法の確立	//	52~61		

研究目標	研究項目		担当研究室	摘要
<p><大型別枠> 生物資源の効率的利用技術の開発</p>	合理的林業経営構造の解明と管理方式	<p>(林業経営計画に関する問題) (林業経営計算に関する問題) 地域に立脚した林業の総合的管理方式</p>	<p>経営</p>	<p><場内プロ> 58~60</p>
	生物資源の賦存量の解析と再生産可能量の評価	<p>地域生態系における再生産可能量の評価 (林地生態系における再生産可能量の評価)</p>	<p>土じょう</p>	<p>58~60</p>
	林地生態系における新樹種の導入と効率的生産システム	<p>ササ資源の繁殖特性利用による収穫技術 (繁殖・再生機能の種間差異) (刈取収穫と再生量の関係)</p>	<p>造林</p>	<p>56~59 57~59</p>